

ちいきのわ

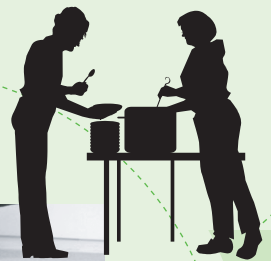
発行 豊中市 政策企画部 コミュニティ政策室

NPOってどんな活動をしているの?.....P1

地域で活躍するNPO.....P2/3

市民活動情報サロン.....P4

地域自治システム調査検討報告書



NPOって どんな活動をしているの?



子育て情報誌作成に向けた講座(SMILE編集部)
平和の大切さを伝える演劇(豊中平和演劇祭実行委員会)
夏休み工作教室(蛍池校区社協、蛍池遊びのプロジェクト)
百人一首を通して伝統文化を学ぶ(現代版 寺子屋)
合同パトロールによる防犯活動(永楽荘わんわんパトロール隊)

NPOの活動をご存じですか。豊中には、市が把握しているだけでも100を超える団体があり、福祉サービスの提供、環境保護、子どもの居場所づくりなど、それぞれが専門とする分野で活動しています。地域コミュニティを支える自治会等の地域団体とは特性が異なりますが、身近な地域を、豊中のまちを、より良くしたいという思いは共通のもので、互いの力を活かすことで、今まで取り組めなかったことが実現するかもしれません。豊中でのNPOの活動状況を紹介し、その果たす役割について考えます。



インタビュー

蛭池北町ボランティアの会

自治会のない地域も盛り上げたい！
楽しみながらの「つながりづくり」

ひとり暮らしの高齢者や障害のある人など、援護の必要な人の情報は民生委員さんが把握していますが、災害時に民生委員さんだけが安否確認に走るのは大変です。日ごろからご近所同士のお付き合いがあれば、いざというときにも互いに声をかけ合うことができます。自治会はその地域の顔見知りの関係をつくる上でとても大切なのに、この町には自治会のない区域があることが気がかりでした。



横田由美子さん

民生委員さんも同じ悩みを持っていることを知り、まずは地域のつながりをつくるための活動から始めようと、会を立ち上げました。



芋煮会で、尺八の演奏に合わせて唱歌を口ずさむ参加者

今、力を入れているのが、「北町のスター」探し。歌や楽器演奏など色々な特技を持っている人に行事で発表してもらっています。発表する人も参加する人も楽しめるので、住民どうしの交流が進みやすく、口コミで情報が広がり、どんどん新しいスターが見つかります。「この人は協力してくれない」「この団体とは合わない」なんて考えないで、日ごろから色々な団体と積極的に関わっていけば、活動の悩みの相談や、同じ思いを持つ団体との協力がしやすくなるのではないのでしょうか。年をとっても安心して住み続けられる町であるために、今後、若い人たちとのつながりもつくりながら、活動していきたいと思っています。

団体紹介

平成19年設立。蛭池北町の住民の世代を超えたつながりをつくり、安心・安全に暮らせるまちづくりをめざして活動を開始。民生・児童委員とも連携し、月1回の廃品回収による報奨金などを資金源に、公園清掃や芋煮会、ハイキングなどを行いながら地域の活性化に取り組んでいる。(平成21、22年度市民公益活動推進助成金交付団体)

インタビュー

NPO法人オリーブの園

地域とNPO
力を合わせて住みよい地域に

専門的な知識や技術を持つNPOと、人のつながりが強い地域団体、お互いの強みと弱みを補完しあえば、もっと住みよい地域づくりができるはずです。私たちは活動に必要なものを地元の商店で購入するなど、「地域のお得意様」になることから地域との関係づくりを始めました。

今では、地元の自治会にも加入し、回覧板や親睦旅行のバスの中で活動をアピールすることで、住民のみなさんに広く情報発信しています。また、グループホームの運営推進会議では、認知症予防やDVなど、家庭内の問題をテーマにした講座を行い、自治会、校区福祉委員会、民生委員など、多くの方にご参加いただいています。

NPOは、行政と密接なかわりを持つ地域団体と比べると認知度や信頼度が低く、活動が孤立しがちです。非営利事業で収益は公益活動に投入



デイサービスでは音楽療法を取り入れています

しているのですが、そのことをなかなか理解してもらいにくいようです。

また、地域へのアピールが苦手であったり、地域に働きかける必要性を感じていなかったりするNPOも見受けられます。NPOのほうから積極的に情報発信し、地域団体に歩み寄る努力が必要です。



是山康代さん

地域団体のみなさんも、もっとNPOの力を便利に使ってほしいと思っています。その地域に活動拠点(事務所)のないNPOでも、自分たちの得意とする分野や課題であればつながることができます。まずは、地域のイベントなどを一緒にやって、お互いに顔を合わせていくことから始めてみてはどうでしょう。

団体紹介

平成12年設立。高齢者福祉を中心に、介護保険事業としてグループホームの運営やデイサービス事業、男女共同参画、共生社会づくりを行う。先駆的な活動により男女共同参画推進に貢献したことが評価され、平成19年に大阪府女性基金プリムラ奨励賞を受賞。グループホームを活動拠点の一つとし、周辺地域との関係づくりや連携をめざしている。

NPOってなに？

私たちの抱えるさまざまな社会的課題、たとえば福祉や子育て、教育、環境問題などについて、営利を目的とせず自発的に取り組む任意団体を、NPO(エヌ・ピー・オー。非営利組織。Non-Profit Organizationの略)といいます。自治会等が、特定の地域の住民のつながりや親睦を大切に、生活を共有しながら、安心・安全な地域づくりのために総合的に取り組む組織であるのに対し、NPOは、志を共有する人たちが特定の分野・テーマで活動する組織です。活動分野における専門性を持ち、地域の枠に捉われず自由に考え行動する柔軟性を発揮し、私たちの身近なところで活躍しています。豊中でもたくさんNPOが活動していますが、活動内容をあまり知られていない団体もあります。地域へ積極的に働きかけ活動の輪を広げるとともに、地域団体や他のNPOと連携し、地域を支える担い手としてのさらなる活躍が期待されています。

豊中で活動するNPO
どれくらいあるの？

多くの市民のみなさんにNPOの活動について知っていただくため、市は「市民公益活動団体情報」を作成し、市民活動情報サロン(裏表紙参照。情報掲載は随時受付)や市ホームページで公開しています。豊中で活動するNPOは、ここに掲載している団体だけでも、101団体あります。また、NPOのなかには、法人格を取得している団体もあります。豊中に主たる事務所を置くNPO法人(特定非営利活動法人)は、83団体です。

市民公益活動団体情報に掲載している団体の活動分野
(複数分野にまたがる団体あり)

活動分野	団体数
社会福祉・保健医療系	56
教育・学習・文化・スポーツ系	46
国際交流・協力系	15
環境・地域づくり系	36
人権・平和系	12
その他	7

NPOについてもっと知りたいときは 市民活動情報サロンへ！

市民活動情報サロンは、市民活動に関する情報提供や市民・団体の交流の場です。催しの企画や相談対応などは、市がNPO法人与よな市民活動ネットきずなに委託して実施しています。

「どんなNPOがあるか知りたい」「こんな専門性を持ったNPOに協力を頼みたい」「何か活動を始めたい」など、どんなご質問・ご相談でもお寄せください。

お気軽にお入りください。
ちょっとした待ち合わせなどでも、
どうぞご利用ください。



場所：阪急豊中駅北改札口前
開館：火曜～土曜日 10時～19時
(祝日年末年始の12/29～1/3は休み)
電話：06-6152-2212

(左から、きずなの坂田さん、市川さん、平尾さん)

地域自治の仕組みについての調査検討報告書をいただきました



委員長の岩崎恭典さん(四日市大学教授・写真中央)をはじめ市民委員の皆さんから、市長に報告書が手渡されました。
(平成23年2月18日)

地域の問題を地域で話し合い、解決していくために、さまざまな団体や住民が連携する仕組みなどを2年にわたり検討してきた地域自治システム調査検討委員会から、報告書をいただきました。地域の自治を進める取組みは、市が一斉・一律に進めるのではなく、地域の自主性を尊重することや、地域の特性に応じた柔軟な支援制度をつくることなどが書かれています。

検討を進めるにあたり、新千里東町と上野でフィールドワークにご協力いただいたほか、各地域での意見交換会や出前講座などでも多くのご意見をいただきました。ありがとうございました。

市はこの報告書の趣旨に沿って、平成23年度から地域担当職員を段階的に配置するほか、地域への支援制度や行政の組織体制を整えていきます。

報告書の内容や、これから進めようとしている新しい仕組みづくりについて、出前講座で説明に伺います。ぜひご利用ください。

「ちいきのわ」休みます

地域への支援制度などを整えていくのに合わせ、この情報誌「ちいきのわ」の発行を休みます。
今後、情報の内容や発信方法、発行時期などについて改めて検討します。



発行

豊中市 政策企画部 コミュニティ政策室

〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1 (豊中市役所 第二庁舎3階)

TEL 06-6858-2727 FAX 06-6858-2667

メール community@city.toyonaka.osaka.jp

市ホームページ <http://www.city.toyonaka.osaka.jp/top/bousai/npo/index.html>